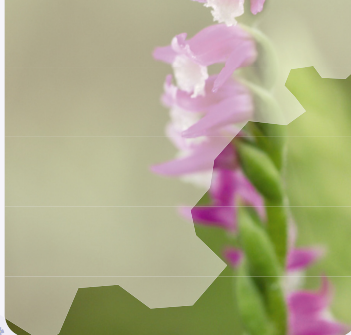
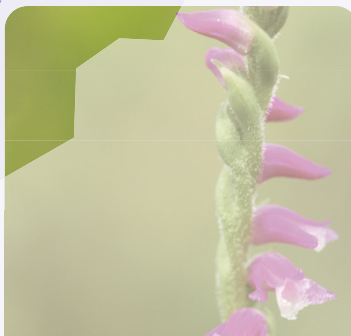
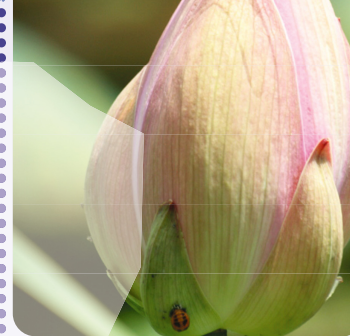
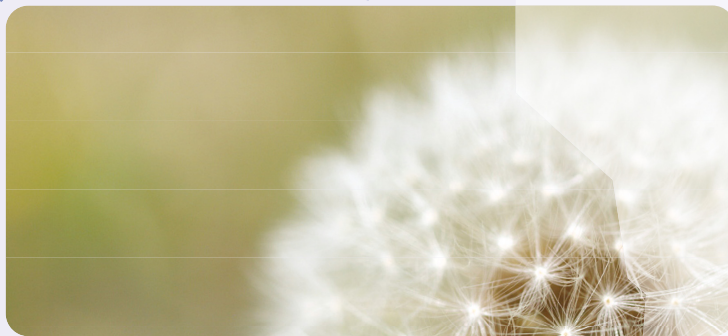
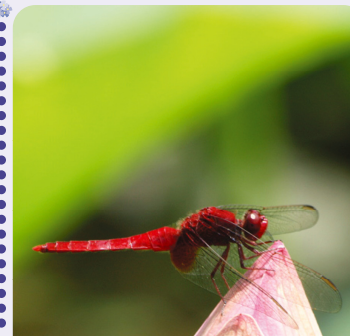
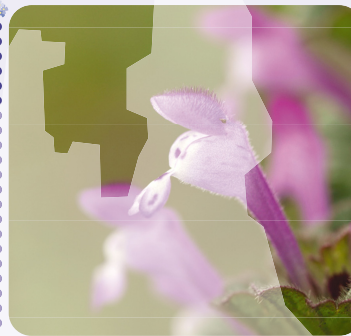


# 県大 jiman

滋賀県立大学広報誌

第13号013

July. 2013



7月	27・28	土・日	オープンキャンパス2013
8月	上旬		インターンシップ（～9月下旬）
	7	水	3年次編入学試験（工学部）
	7	水	第2回琵琶湖塾（公開琵琶湖塾） 講師：坂東真理子氏（昭和女子大学学長）
	7	水	夏季休業開始
	7～9	水～金	集中講義期間
	8	木	大学院入学試験（工学研究科博士前期課程）
	8	木	大学院入学試験（工学研究科博士後期課程）
	9～29	水～水	レイクスベリオル州立大学（LSSU）夏期プログラム
	29	木	大学院入学試験（人間文化学研究所生活化学専攻博士前期課程）
	31	土	荒神山ロックフェス2013
9月	1	日	荒神山ロックフェス2013
	3	火	3年次編入学試験（環境科学部）
	4	水	第3回琵琶湖塾 講師：乙武洋匡氏（作家・東京都教育委員）
	7	土	3年次編入学試験（人間看護学部）
	11～26	水～木	集中講義期間
	25・26	水・木	大学院入学試験（環境科学研究科博士前期課程）
	27	金	大学院入学試験（環境科学研究科環境計画学専攻博士後期課程）
	29	日	夏季休業終了
	30	月	後期授業開始、後期公開講義開始
10月	9	水	第4回琵琶湖塾 講師：近江弘一氏（石巻日日新聞社代表取締役社長）
	17	木	第7回就職セミナー（就職活動直前対策セミナー）
	17・18	木・金	大学院入学試験（人間文化学研究所地域文化学専攻博士前期課程）
	19	土	第8回就職セミナー（SPI試験対策セミナー/模擬テスト）
	22	火	大学院入学試験（人間看護学研究科修士課程）
11月	2	土	第9回就職セミナー（一般常識試験対策セミナー/模擬テスト）
	8	金	「湖風祭」前日準備（全学休講）
	9・10	土・日	大学祭「湖風祭」
	9・10	土・日	在学生による進学・大学生生活相談会～先輩に聞いてみよう～
	11	月	「湖風祭」後片付け（全学休講）
	20	水	第5回琵琶湖塾（公開琵琶湖塾） 講師：竹内洋岳氏（プロ登山家）
	16	土	第10回就職セミナー（エントリーシート対策セミナー/模擬テスト）
	24	日	特別選抜試験
	27	水	第11回就職セミナー（合同企業説明会準備セミナー/企業の探し方・アプローチの仕方）
12月	4	水	第12回就職セミナー（グループディスカッションセミナー）
	18	水	第6回琵琶湖塾 講師：浜矩子氏（同志社大学大学院教授・エコノミスト）
	21	土	第13回就職セミナー（面接対策セミナー/ビジネスマナーと面接突破方法）
	27	金	冬季休業開始
1月	5	日	冬季休業終了
	7～9	火～木	集中講義期間
	中旬		企業研究会（合同企業説明会）
	17	金	大学入試センター試験前日準備（全学休講）
	18・19	土・日	大学入試センター試験

## 県大イベントカレンダー

## 近江楽座

## 10周年記念座談会

### 特集 巻頭企画 近江楽座10周年記念座談会

創立者と代表者が活動の軌跡を振り返ります。

2

### 学生企画

県大生のキャンパスライフを  
有意義にする〇〇〇を教えてください！

県大生のプライベートをのぞいて来ました！

6

### 県大Report

#### Labo Report

県大 jiman 研究室。今回は人間文化学部国際コミュニケーション学科です。

8

#### Class Report

あの授業はどんな授業？今回は環境科学部環境建築デザイン学科の「イメージ表現法」です。

8

#### After School Report

今回は「チアリーディングサークルDUCKS」と「USP Magic」を紹介します。

9

#### Kendai Book Review

今回は「自転車コミュニティビジネス」と「滋賀県謎解き散歩」を紹介します。

9

#### トピックス&インフォメーション

県大イベントカレンダー

10

表紙企画「県大生物図鑑」

### 「県大 jiman」について

琵琶湖と滋賀の自然をイメージカラーにし、胸を張って  
「自慢」する、明るく前向きに応援する気持ちをロゴに  
デザインしました。

滋賀県立大学

The University of Shiga Prefecture

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」は県大が持つキラリと光る「jiman」なところを紹介する広報誌です。

「県大 jiman」をよりよい広報誌に育てていくために、今後みなさんの協力をいただきたいと思っておりますので、ご意見・ご感想をお寄せください。

学生広報スタッフ大募集！ 広報誌作成グループでは、県大 jiman の作成に参加してくれる学生を募集しています。私達と一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。デザイン  
の専門知識がなくても大丈夫です。興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

### From 広報スタッフ

県大らしさがとても伝わりますね！

今回も協力者のみなさんに感謝です！

インタビュー楽しかったです。ありがとうございました！

楽しかったです！有難うございました！

いい勉強になりました！

初めてのことでおもしろかったです。

貴重な体験でした。楽しかったです！

（人間文化学研究所2年生 田辺 京子）

（人間文化学部4年生 福島 渚）

（人間文化学部4年生 宮川 侑子）

（人間文化学部4年生 貝屋 ころこ）

（人間文化学部1年生 中道 千尋）

（人間文化学部1年生 井上 智子）

（人間文化学部1年生 福本 萌）

取材に関わった全ての方々、ありがとうございました！（人間文化学部1年生 井上 友希）

県大のことを好きになってください。（人間文化学部1年生 分部 敬多）

みなさんも県大のいいところを探して下さい（工学部 河崎 澄）

ニューフェイスや協力学生が加わります jiman に！（人間文化学部 佐々木 一泰）

これからの県大 jiman に期待しています！（事務局 茶谷 忠宏）

近江楽座10年の歴史を感じてください（事務局 玉井 大輔）

滋賀県立大学広報誌「県大 jiman」第13号

発行/滋賀県立大学広報委員会

編集/広報誌作成グループ

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

Tel.0749-28-8200 Fax.0749-28-8470

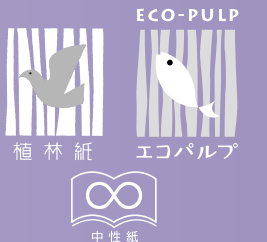
URL: www.usp.ac.jp/

E-mail: webmaster@usp.ac.jp

発行日/2013年7月26日

表紙写真提供/エコキャンパスプロジェクト

表紙デザイン  
人間文化学部4年生  
福島 渚



# 特集 近江楽座10周年記念座談会

創業者×代表者 特別インタビュー  
—— 活動の軌跡を振り返る ——

今年で創立10年を迎える近江楽座。今回はそれを記念して、近江楽座の創立時から活動が続けてきた3団体にインタビューを行いました。今までの活動を振り返りながら、近江楽座の魅力に迫ります。



## 活動の流れ



## 近江楽座で目指すこと

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する
- 滋賀県立大学と地域が共同してよりよい地域づくり・人づくりにつながるシステムをつくる

**近江楽座が気になったあなたに**

「近江楽座のススメ」には、学生たちの活動の軌跡が記されており、この一冊に近江楽座のエッセンスがギュッと凝縮されています。

「近江楽座のススメ 学生力で地域が変わる / 4年間の軌跡」  
滋賀県立大学 近江楽座学生委員会・編著

## ○活動助成システム

「スチューデントファーム「近江楽座」として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費が審査の上助成されます。

## ○コンサルティングシステム

教員チームの指導、助言に加えて、行政・専門家の紹介など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングが行われます。

## ○地域「知」のリソースシステム

地域連携に係る情報を大学と他大学・研究機関・NPO団体などと共有化し、活用するためのデータベースが構築されており、活動をサポートします。

## ○セミナーの開催

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象に行われます。講師には、学内外から幅広い分野の方々が招かれます。

## 「近江楽座」とは

滋賀県立大学の学生を中心としたチームが、地域貢献を目的に各自設定したフィールドで課題に取り組む活動の総称です。平成16年に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採択され、活動を開始しました。テーマは「学生主体による地域活性化活動」ですが、そのアプローチはものづくりや食、農、アートなどさまざまです。その地域の方と一緒に活動することで、大学の授業よりもさらに実践的な体験をできることが特徴です。

## サポートシステム

近江楽座には、様々なサポートシステムが完備されており、活動を行う際に、大きな助けとなっております。

## ○他団体との交流

中間報告会、成果発表会、交流会など、他団体と情報の共有ができる場が、たくさん準備されています。

# Taga-Town-Project

多賀の素敵なおところ探し・発信する団体。具体的には、一箱古本市の定期開催、多賀暮らし図鑑の取材・制作を通して見つけた魅力を発信していきます。

**宮浦 菜**  
人間文化学部生活デザイン学科3年生。  
Taga-Town-Projectの現代表。  
「多賀の方々に多賀の魅力を知ってほしいです」

**大橋 結実**  
環境科学研究科環境計画学専攻  
博士前期課程2011年修了  
学生時「Taga-Town-Project」に所属  
近江楽座事務局元担当

## ■プロジェクト発足のきっかけ

**大橋** 多賀町という場所は、8割くらいが森林で、昔から林業で発展してきた町です。ただ、山の手入れというのは結構大変で、高齢化が進み、やる人がいなくなり…。そんな状況をなんとかしたいなと思って先輩方が活動を始めたんです。具体的には、間伐作業を手伝った時に、間伐材を利用してものづくりをして、それを通して多賀のことをもっと好きになっていってほしいと思ったのがきっかけです。

## ■一貫して大切にしていること

**宮浦** 多賀の方々に多賀の魅力を知っていただくことが活動の中心ですが、やっぱり自分たちが楽しいと思いがちです。うっていいことですかね。

**大橋** そうですね、それに、自分が楽しいと思いがちから活動を展開していかないと、町の方にも楽しいと思っていただけじゃないし、そもそも何のために活動しているのか分からなくなりますから。

## ■苦労されたこと

**宮浦** いっぱいありますね。先程大橋さんが、町で何か活動をするときは、まず、町の人たちと話し合っべき、とおっしゃっていました。やりたい気持ちの方が先走って、「先に相談してよ」というお声をいただくことは多々あります…。

**大橋** 活動する上で町の人たちの協力は絶対必要なので、こういうことをやりたいんです、という企画の段階で伝えることが大切ですね。

## ■学んだこと、役立ったこと

**大橋** 何を目指してやっているかとか、真剣に考えた時期がありました。その時、何かするときに、それを通じて何を成し遂げたいのかを考えることがすごく大事なんだと気付かされました。こうした考え方は、仕事をする上でも役立っています。最終的な大きな目標に向かって、自分の立場で、こういうことをやるべきなのかを考える時の土台になっています。

## ■近江楽座の魅力について

**大橋** 助成金がいただけるので、活動がしやすいかな、といっつのはあります。なにをするにも資金は必要ですからね。そうして、限られた予算の中でのやりくりだったりとか、近江楽座のチームでしか分らない悩みがあつて、そのことを他団体の子に相談できたり、共有できるのもいいと思います。

## ■コラボ

**宮浦** そうですね。他の団体とのコラボを行ったり、横の繋がりもあります。  
**大橋** それぞれの団体なりの得意分野とか、コンテンツがあるので、そういったものを補い合いあえるのはいいですね。





**鈴木 絵夢**  
人間看護学部人間看護学科 2007 年卒業。  
未来看護塾の初代表。  
現在、病院に勤務。

**林 操輝**  
環境科学部建築デザイン学科 3 年生。  
とよさと快蔵プロジェクトの現代表。  
「実際に建築そのものを扱えることは勉強になります」

**竹岡 寛文**  
環境科学研究科環境計画学専攻博士前期課程 2009 年修了。  
とよさと快蔵プロジェクトの初代表。  
現在、株式会社パード・デザインハウスにて勤務。

**中川 杏奈**  
人間看護学部人間看護学科 4 年生。  
未来看護塾の元代表。  
「地域には色々な方々が住んでいらっしゃるんだな、と学びました」

## 未来看護塾

子供や高齢者、障がいの有無に関わらず、地域の方々を対象に幅広く活動しています。人との触れ合いの中で、コミュニケーションや健康について私たち自身が将来に必要な力を活動の中で養い、身につけていきます。

## とよさと快蔵プロジェクト

使われなくなった民家や蔵が点在する豊郷町で、まちの資産を活用し、地域を盛り上げる活動を行っています。町を盛り上げるサポートにも力を入れています。



こちらで病院祭りにて。学生が子どもに目線を合わせて話しています。

**■プロジェクト発足のきっかけ**  
**竹岡** もともとフィールドワークがきっかけで、豊郷とつながりがありました。ある時「解体しないといけない民家があるのだが、建築を勉強しているなら、手伝ってみないか」と誘われました。そこで民家の解体を経験したのですが、その建物がまだまだ使えるものだったので、もったいないなと感じました。それがきっかけとなり、学生にも何かできることはないだろうか、とNPO法人とよさとまちづくり委員会の方々と話し合うようになりました。

**■発足時のハード**  
**竹岡** 最初、解体している時にすごく叱られたのを覚えています。僕らも家の解体なんて初めてで、「うるさい」と苦情が入ったり、埃が舞って叱られたり。始めのうちにはたいしたことのない仕事でもすごく時間がかかって、休みの度に合宿をして作業を進めていました。それ以外にもフィールドワークをしている時に不審者に思われたり……。そんな時、まちづくり委員会の方々が、地域の人たちに理解を求めて説明してくださいました。そうして今の状況が出来るんだと思います。

**林** そうですね。今の活動は、基本的に学生主体で町に飛び込んでいく形なんです。先輩たちの活動のベースがあることで町の方々が学生を受け入れてくれます。そのおかげで地域の方々の活動がスムーズにできています。

**■一貫して大切にしていること**  
**竹岡** 地域のためになることがもちろんベースにあるのですが、最初はそれ以外にも、豊郷という町をフィールドにしても、それぞれのやりたいことが実現できる場になればと考えていました。その年なり

### ■プロジェクト発足のきっかけ

**鈴木** 私が2年生のときに近江楽座が始まりました。その時、看護学科からもプロジェクトをしよう、と先生が勧めてくださったのがきっかけです。そして近江楽座自体が、地域に根ざしたプロジェクトを推進していることもあり、看護学生として何が出来るだろうと考えた結果、地域の施設でのボランティアという活動に至りました。将来看護師になるにあたって、医療系介護施設スタッフのこと、そして地域で生活する人のこと、双方を知らなければいけません。ですので、その双方の架け橋になればということも、きっかけのひとつですね。

### ■発足時のハード

**鈴木** 本当にゼロからのスタートでした。何を指して、どこで何をしていくか。学生数人で集まり、自分たちには一体何が出来るのかそして自分たちの「看護観」を熱く語り合っていました。また、彦根市立病院の看護部長さんたちのところに実際に伺い、自分たちの思いを説明しに行ったり、病院に入って活動する上での注意などをお聞きしたり、まずは体制をつくっていただきました。

**中川** 最初はそんな少ない人数からのスタートだったんですね。今では看護学部生のほとんどが所属する大きな団体になりますから……すごいです。

の挑戦があったらいいなって。そういう意味では、常にこれっていうコンセプトはあまり固めないようにして、やりたいことが自由にできるようにしていました。**林** そういう雰囲気は今でも続いていますが、皆で自由に意見を出し合いながら活動しています。受動的な活動でなく、やりたいからやるという能動的な部分を大切にしています。そうしないと、楽しくないです。



満ち家の一間を解体して土間へと改修しているところです。

### ■学んだこと、役立ったこと

**竹岡** 今、デザインの仕事をしています。地域に関わる仕事をほとんどです。そう言う意味では、活動によって得たスキルが役立つ前に、僕自身が自分の道を歩いて行く中で、大きな分岐点となったので、本当に自分を形成してきた活動の1つだかなと思っています。

**林** 建築学科の学生として、実際に建築そのものを扱えることは勉強になります。加えて、改修をしていく上で、地域の方々のコミュニケーションをとることも多く、そういうところも含めて、建築やま

### ■学んだこと、役立ったこと

**鈴木** そうですね。もともと活動場所が彦根市内の病院や施設だけだったんですけど、今では彦根市内だけでなく様々な地域にも行くようになっていて、聞いて、ほんとにすごいです。私たちが立ち上げた時はこんなに大きな団体になるなんて、思ってもみなかったです。



彦根市立病院主催の病院まつりにて。アートバルーンは、ちびっこ広場の中でも大人気。

**中川** 先輩たちが作ってくれた土台がしっかりあったからですよ。おかげで、地域の方々の理解もありますし、だからこそ現在、自分たちが活動しやすくなっているというのは感じます。

### ■一貫して大切にしていること

**鈴木** コミュニケーションは大切にしています。これが必要なければ何もできないし、何も始まらないですからね。**中川** 地域の方や、施設のスタッフとのコミュニケーションも大事ですけど、学生同士のコミュニケーションも大事だと最近思います。

### ■苦労されたこと

**鈴木** ボランティア活動自体すごく楽しかったのですが、あまり苦労しませんでしたね。でも、立ち上げの時はとにかく話し合いが多くて、そこが大変でしたね。**中川** 話し合いを詰めていくのは本当に

ちづくりを感じることが出来るのは、勉強になります。**竹岡** 仕事をやる上で、スキルももちろん大事だけど、実際は人と人とのコミュニケーションも大切ですね。



イベントの様子。昨年度改修した満ち家にて、チャタさんという絵描きの方を中心に開催されました。

### ■近江楽座の魅力について

**竹岡** 代表を引退したあとは、何か違う形で快蔵プロジェクトに関わろうと、近江楽座学生委員会というチームを立ち上げました。実は最初の頃、近江楽座の他の団体がどんな活動をしているのか、そもそもどんな団体があるのかすらわからない状況だったんです。そういった中、近江楽座3年目の頃、他団体との交流ができる場を設けました。それによって、大学全体でつながるといった形ができました。

**林** 今でも、他団体との交流ができるという点は近江楽座の大きな魅力になっていると思います。昨年も、柱に菜種油を塗ると光沢が出ることを発見した時、「菜の花エネルギー」の団体さんと協力して一緒に柱を磨く活動ができましたね。

### ■学んだこと、役立ったこと

**鈴木** 当時は振り返ると、初心に戻るこの大切さを思い出させてくれます。当時は活動する中で、看護に関与している可能性を模索したり、どういことが必要なのかを考えたりしていましたね。**中川** 地域には色々な方々が住んでいらっしゃるんだなということが、一番学んだことです。地域の方、それぞれに色々な思いを持って生活してらっしゃるといっは、当たり前なことなんですけど、それを肌で体験できたことは本当に大きいです。

### ■近江楽座の魅力について

**鈴木** 未来看護塾は自己成長できる場所だと思います。そういった場としての近江楽座は魅力的な組織です。**中川** そうですね。私は、近江楽座の報告会や審査会で、たくさん資料を作ったり、人前でプレゼンしたり、色々学びました。また、こういう縦のつながりもある団体というのは、看護系学部の中では全国的に珍しいようです。間近で先輩の姿を見て気軽に相談したり、色々なことが吸収できるのは、すごく良い仕組みだと思います。



近江楽座はまさに県大の「jiman」な取り組みだと感じました。ますますのご活躍を期待しております！

# 部活・サークル



「部活があるから、大学に来るのが楽しい」

週4日の練習は大変ですが、部活に行くことが県大に通う1つの楽しみなんです。

「自分たちでチームを良くしていくという雰囲気」

監督がいない硬式野球部は、部員間で練習メニューを考案しているそうですよ。

「もっと先輩のことが知りたい、仲良くなりたい」

先輩と仲良くなれたり、授業や試験の情報をもらったりと、大学生活を助けられる関係ができるのも、部活ならでは。

「練習は楽しそうだけど、試合は本気度が違う」

試合の場では、あそこまで本気に・・・と思ってしまうくらい真剣な先輩方。触発されてマネージャーの仕事に頑張らなければならないそうです。

# 音楽



「中島みゆきが好き!」

お父さんの影響で聞くようになったのですが、世代を越えて好きになれるなんて良いですね。

「ウォークマンが無いとテンション下がる・・・」

移動時間など、忘れたときのショックは大きいです。

「CDを集めるの好き」

聴くだけでなく、いろいろな楽しみ方がありますね。

「スピッツやミスチル好きが多い」

様々なジャンルやアーティストの好みがあるようですが、県大ではこの2組はテッパンなんですかね。

# 自転車で散歩



「彦根のまちを探検」

彦根のまちを探検しているうちに見つけたルートがお気に入りだそうです。

「ペリロード」→キャンパスロード →8号線の道が好き

8号線への近道を探しているうちに見つけたルートがお気に入りだそうです。

「部活前の写真部の方に聞きました!」

「いいなあと思う路地に出会うこと」

お気に入りの路地を探してみるのも面白そうですね。

「行ったことのない場所に自分の直感で」

休みの日や、授業の空きコマを使ってふらっと行くことが多いようです。

# 友達と大富豪



「授業の空きコマに食堂で」

トランプ常備なので同じ学科の友達と授業終わりにそのまま・・・ということが多くみえます。

「授業の合間の息抜き」

自宅生は空きコマも、なかなか学校を離れるわけにいけないので、学校でできる良い息抜きになっているんですね。

「今しが遊べない」

「そろそろサンカーにシフトしようが・・・」

オリジナルのルールを作るぐらい大富豪をされているそうですが、そろそろ別の空きコマの楽しみ方を探しているそうです。

# 県大生のキャンパスライフを有意義にする○○○を教えてください!

学内での勉強はもとより、近江楽座や学外でのプロジェクトへの参加も多い県大生。しかし、いつも研究や制作をしているわけではありません。そこで今回は、県大生のプライベートを覗いて来ました!

# 読書



「帰りがけの生活デザイン学科の方に聞きました!」

「自分とは違う環境や思想を知ることで、考えさせられる」

自分のなかに無い考えを与えてくれるのが読書。ゆっくり考え込むこともできれば、頭をほぐすこともできるそうです。

「他人の感情や経験を短い時間で体感できる」

ファンタジーなら、ワクワクドキドキ、情景のきれいなものは癒される。いろいろな気持ちが味わえますね。

「最近読んだのは、『パン屋の手紙』」

建築家とパン屋が一緒にパン屋を作るお話・・・気になった方は探してみたい。

← ちなみに、生協の書籍コーナーも充実していますよ。

# DVD鑑賞



「やっぱりジブリ!」

不動の人気を誇るジブリ。最新作も気になります。昔のものを観るのも良いですね。

「家で1人で・・・」

映画館より、家で1人でゆっくり観た後余韻に浸りながら眠る・・・これぞ有意義ですね。

「風の谷のナウシカ」

ちなみに、県大の図書館でもDVD視聴コーナーがあるので、ぜひ行って下さい。

勉強中の2回生の方に聞きました!

「好きなものなら、ひたすら!ピート!」

気に入ったものなら何回でも観れますよ。『海猿』ファンの方もいました。

「マイナーなものを探す」

ヒットしたものなら目に付きやすいですが、あまり知られていないものを見るのも面白そうですね。

# 食堂と生協の食べ物



勉強中の1回生の方に聞きました!

「自宅生はがつづいたものを食べない!持たない!」

遠くから通っていると、通学時間にお腹空いちゃいますよね。対して下宿生は、健康的に魚などを食べているようです。

「生協でよく買うのはきなこ棒」

ブラックサンダーがすぐに挙がるかと思いきや、まさかのきなこ棒!生協にはリーズナブルなお菓子がいっぱいありますね。

「食堂のデザートはまだ・・・」

食堂でもデザートは売られています!まだな方はぜひお試しあれ。

「生協に行くと何が買いたくなる」

とっても誘惑の多い生協。最近に行くのをちょっと我慢しているみたいです。

# バイト



「自分の生活にズクに合ったバイトを見つけた」

今のバイト先は2つ目だそう。自分に合ったものを見つけるのが大切なんですね。

「スキルが身に付く」

礼儀作法やトラブル対処法、レジ打ちなどお金の数え間違いが無くするとか。バイトだからこそ身に付くんですね。

「世界が広がる」

学生以外の方とも関わられるのもバイトの醍醐味!色々な話が聞けますね。

「自分のしたいことができる」

経済的に余裕が出ると、いろいろなことにフットワークも軽くなるのかもしれない。

## After School Report

滋賀県立大学には、体育系、文化系など約 80 のクラブ・サークルが活動しています。その中から今回は、地域に出て活動している団体を紹介します。

### チアリーディングサークルDUCKS

DUCKSは、結成4年目のチアリーディングサークルで、今年の1回生も新しく入り、現在18人で活動をしています。毎週月曜日と木曜日の週2回放課後に柔剣道場で練習をしていて、湖風祭や京滋戦の応援、地域のイベントやお祭りなど様々なところで演技をさせてもらっています。いろいろな学部の個性豊かなメンバーが揃っていて、練習も演技もとても楽しいです！今年の夏休みには、みんなで合宿に行く計画をしています。プライベートでも先輩後輩関係なく仲のいいサークルです。☆チアリーディングは、みんなに元気、勇気、笑顔を与えるスポーツなので、是非今年の湖風祭では私たちの演技を見てください！(∩\_∩)ノまだまだ部員も大募集中なので、興味のある方は一度気軽に練習を見に来てください！これからもDUCKSは県大に元気を与えていこうと思っているのでよろしくおねがいします！



### USP. Magic

皆さん、手品を目の前で見たことはありますか？テレビでは見たことあっても、目の前で手品を見る機会はなかなかありません。僕ら USP. Magic はお客さんの目の前で手品を披露しています。湖風祭や学外公演で活動発表を行い、多くの人に喜んでもらえるように日々練習をしています。子ども会や敬老会ではショーマジックを行い、湖風祭とは一味違った手品を行っています。

ところで、手品といえば「手先の器用さ」が必要だと思われがちです。しかし実際、手先が不器用でも出来る手品はいくらでもあります。では、僕らは何を練習しているのか。それは、楽しんでもらえるような演出です。同じ手品を演じていてもその演出や話術によってまったく違う手品に見えてしまいます。

手品は昔から多くの人を魅了してきました。カードが上がってくる、フォークが曲がる、コインの瞬間移動…。どれも普通の生活には無縁な不可解な現象です。こんな不思議な現象を自分もできたら楽しいと思いませんか？手品をやりたい人はもちろん、目の前で手品を見てみたい人もぜひ USP. Magic へどうぞ！



## Kendai Book Review

### 「滋賀県謎解き散歩」

編著：中井 均（人間文化学部地域文化学科 教授）  
出版：中経出版

滋賀県といえば琵琶湖。しかしその面積は？水量は？となると、滋賀県民でもほとんどの人が答えられないのではないのでしょうか。そうした疑問に答えるために編まれたのが本書です。

滋賀県は歴史、文化、自然が豊富な県です。そこで本書では、滋賀県はどんなとこ編、歴史編、人物編、城郭編、琵琶湖編、滋賀県トリア編、民俗編の7つの分野から謎を解きながら滋賀県をとことん探ってみました。最新の研究成果を謎解きという体裁で読み易くしています。知的好奇心をくすぐりながら滋賀県を知り尽くすことができるでしょう。

ただ読むだけではなく、ぜひ本書を片手に滋賀県を散歩してみてください。



### 「自転車コミュニティビジネス エコに楽しく地域を変える」

編著：近藤 隆二郎（環境科学部環境政策・計画学科 教授）  
著：NPO法人五環生活 + 輪の国びわ湖推進協議会  
出版：学芸出版社

自転車は単なる移動手段だけではなくなっています。彦根城下などを運行する自転車タクシー（彦根輪タク）、琵琶湖一周にも対応するスポーツバイクのレンタサイクル（ピワイチ）、女性が中心となって運営する湖東地域を巡ることが出来るレンタサイクル（めぐりんこ）など、県大周辺で彼らの活動を見かけた方もいるのではないのでしょうか。

これらはNPO法人五環生活のスタッフが手掛ける自転車コミュニティの活動の一部です。彼らの活動を始めとして、スタッフが全国各地の「自転車」取材し、数々の事例にまとめています。自転車をつなげる人や地域の可能性を教える一冊です。



## Labo Report

### 人間文化学部国際コミュニケーション学科 吉村淳一研究室

### 文脈の中で言語や文化の本質を捉える

研究専門分野は言語学（特にドイツ語学）とメディア学で、それらを自分の立脚点として研究教育活動を行っています。とりわけ一つの表現形式から多様な意味が生まれるメカニズムや意味の決定に文脈の要素がどのように関与するのかについて関心があり、中世から現代に至るまでのドイツ語を対象に研究しています。言語表現は、1つのことを表すにも様々な形式があり、それを私たちは環境（文脈）に合わせて選択します。また1つの表現形式は多義性をもっていて、常に形成されつつある文脈の中で一つの意味へと規定されていきます。もちろんその際、意図的に解釈の幅を残すこともできますので、私たちはその曖昧さをレトリックに利用することもあります。ある文化を解釈するときにも文脈は非常に重要で、自国の文化と比較すると奇異に映る文化もその国の歴史的、社会的背景を知ることで、さらに理解を深めることができます。



▲ 阪本豊先生（元天理大学国際文化学部教授）との共編著『メディア学小辞典』（同窓社、2013年5月発行）



### 研究室DATA

教員名：吉村 淳一  
研究室：A1-118  
ゼミ生数：6名  
ゼミ生からの一言：「学生のことをすごく思いやってくれる優しい先生です」

本学科は2012年に設置されたばかりですので、まだゼミ生は2年生しかいません。彼らはこれから留学し、卒論のテーマを決めていかなければなりません。ゼミではその手助けとなるように情報提供をし、ものの見方を身につける練習をしてもらっています。

## Class Report

### イマジネーションとアイデアを、かたちであらわせ！

### イメージ表現法

環境科学部環境建築デザイン学科専門科目  
担当教員：松岡拓公雄・高田豊文・轟慎一・永井拓生

この授業は、環境建築デザイン学科の1回生前期の演習科目です。設計演習への入門編として、デザインの源泉となるイマジネーションやアイデアを整理し、自分のイメージを2次元および3次元で表現する力を身につけます。自由な発想で頭の中に描くことから始まり、自分の手でさまざまな道具や材料を用い、その解をかたちにしていきます。実際にものをつくることで、素材や表現の可能性に挑戦するとともに、空間を構成する感性を養います。

イメージ表現法では、4つの演習課題が設けられており、各課題、2～4週間で制作に取り組みます。演習課題の中には、共同作品もあり、コラボレーションも求められます。今年度の演習課題は、以下のとおりです。

【1】ケント紙による立体造形：美しさだけでなく、強度や安定性をそなえた作品を制作します。



- 【2】建築家のポスター：1回生全員が、すべて別々の建築家を担当し、その建築のイメージを表現します。
- 【3】ドーム：直径8m、高さ3.5mのドームを共同で制作します。また、個人作品として、ドームのある空間の可能性を模型で表現します。
- 【4】3人掛けの椅子：ダンボールを用い、実物の椅子を3人1組で制作します。

また、大学に入学して2ヶ月後の6月には、滋賀県立大学交流センターホワイエにて、新入生作品展「アーキテクト展」を毎年開催しており、イメージ表現法で制作した作品の展覧会を実施しています。もちろんオープンキャンパスでも、これら環境建築デザイン学科の学生作品を展示しています。

# Information

### ◆個人(教員等)

西川 幸治 元学長  
人間文化学部 濱崎 一志 教授  
日本建築学会 学会賞(業績)  
布野 修司 理事・副学長  
日本建築学会 著作賞  
人間文化学部 丸山 真央 准教授  
地域社会学会 奨励賞(論文部門)  
工学部 山下 義裕 講師  
日本材料学会関西支部 支部長賞

### ◆個人(学生)

大学院工学研究科博士前期課程  
2回生 濱辺 勇佑さん  
工学部 4回生 竹村 翔太さん  
工学部 4回生 村井 亮太さん  
プラスチック成形加工学会関西支部  
ベストポスター賞

### ◆個人(クラブ)

環境科学部 2回生 久保 ありささん  
第37回関西力ヌースラローム大会 3位  
大阪府民体育大会 1位

### ◆団体(学科・クラブ)

陶器造一研究室  
社団法人日本建築家協会 日本建築大賞  
滋賀県立大学  
彦根市 感謝状  
NPO法人環人ネット、田の浦ファンクラブ、  
ほたてあかりプロジェクト、未来看護塾、木興  
プロジェクト  
すばらしい歌津をつくる協議会、田の浦契  
約会 感謝状  
※学年は受賞時

## 受賞・表彰

## 着任

平成25年4月1日付

## 人事異動

上河原 献二 環境科学部 教授  
張 晴原 環境科学部 教授  
村上 一真 環境科学部 准教授  
荻澤 竜一 環境科学部 准教授  
泉津 弘佑 環境科学部 助教  
北村 千寿 工学部 教授  
西岡 靖貴 工学部 助教  
栗本 遼 工学部 助教  
小郷原 一智 工学部 助教  
山田 明寛 工学部(ナノ工学研究センター) 助教

John Martin Rippey 人間文化学部 教授  
横田 祥子 人間文化学部 助教  
遠藤 弘史 人間文化学部 助教  
望月 紀子 人間看護学部 教授  
小林 孝子 人間看護学部 准教授  
本岡 夏子 人間看護学部 助手  
小島 亜未 人間看護学部 助手  
酒田 宴里 人間看護学部 助手  
上田 洋平 全学共通教育推進機構 助教  
藤川 康弘 事務局長  
西山 剛 総務グループ 主幹  
樋口かおる 総務グループ 副主幹  
田川 幸子 総務グループ 副主幹  
三和田大衛 財務グループ 主幹  
谷口 愛美 財務グループ 主幹  
久保田奈純 学生・就職支援グループ 主幹  
伊藤 陽子 図書情報グループ 主査

## 所属替え

橋本 俊明 図書情報グループ(より)  
大澤 孝史 地域貢献研究推進グループ(より)  
玉井 大輔 教務グループ(より)  
山川 浩司 総務グループ(より)  
茶谷 忠宏 経営戦略グループ(より)  
植田 光重 財務グループ(より)

## 退職

富岡 昌雄 環境科学部 教授  
柴田 いつみ 環境科学部 教授  
水原 渉 環境科学部 教授  
長谷川 亮一 環境科学部 教授  
柴田 裕希 環境科学部 教授  
菊地 憲次 環境科学部 教授  
熊谷 勉 環境科学部 教授  
亀田 彰 工学部 准教授  
竹内 日出雄 工学部 准教授  
宝田 隼 工学部 教授  
黒田 末壽 工学部 教授  
荒井 利明 人間文化学部 教授  
福井 富穂 人間文化学部 教授  
本田 可奈子 人間看護学部 教授  
鬼頭 泰子 人間看護学部 教授  
大橋 順子 人間看護学部 教授  
山下 真裕子 人間看護学部 教授  
山岡 和士 事務局次長  
芝原 和士 事務局次長  
井上 勉 総務グループ  
松浦みのり 総務グループ

# Topics & Information

## TOPICS 01

### 同窓会館 竣工式



共通講義棟(A7棟)・同窓会館の全景

平成25年3月16日(土)の共通講義棟(A7棟)・同窓会館完成に伴い、大学関係者、滋賀県関係者および工事関係者の参列のもと、竣工式を行いました。  
この施設は、本学初めての木造校舎で、構造材・下地材・内外装仕上材・教室家具などの木材は滋賀県産材(びわ湖材)を使用することにより、湖国滋賀の地産地消を目指すとともに、木造空間の魅力を感じる施設となっています。また、基本設計は大学院環境科学研究科の演習課題として、教員の指導の下、学生が手がけました。  
建物内には、100人程度が学べる中講義室が2室と、学生が自由に学習できる自習スペースのほか、語学教員室や同窓会事務局があり、快適で省エネルギーな環境建築となっています。

【共通講義棟(A7棟)・同窓会館の概要】  
構造 木造平屋建て  
規模 延床面積 879.15㎡  
主要室 講義室(100名程度)×2室  
教員室 自習室  
同窓会館(事務室、談話室、会議室)

## TOPICS 02

### 海外大学との 協定締結



江原大学での協定締結式

平成25年3月6日から9日、大田啓一学長ほか2名が韓国江原大学、光云大学を訪問し、江原大学では一般協定および学生の相互派遣に関する協定を締結しました。  
江原大学は、韓国ソウル市の北東約80kmに位置する江原道春川市に所在する国立大学です。春川キャンパスだけでなく16学部を有し、学生数は20,267名という規模の大きな大学です。  
今回の相互派遣協定では、両大学が1年間に3名を相互派遣することとし、平成25年度後期より派遣・受入が開始されます。  
また、光云大学は韓国のソウル市内の北東部に所在する私立大学です。7学部約9,000人の学生を擁する歴史ある総合大学です。光云大学の東北亜学部と滋賀県立大学の人間文化学部との間で、平成24年9月28日にすでに学生の相互派遣協定(年間3名)が締結されており、平成25年度から学生の相互派遣が始まります。今後は、学生の相互派遣を中心に、研究交流も積極的に進めていく予定です。

## TOPICS 03

### 人間看護学部 保健師・助産師・看護師合格率 100%

第102回看護師国家試験、第99回保健師国家試験、第96回助産師国家試験の結果が3月25日に厚生労働省から発表され、本学人間看護学部からの受験者は、全員合格することができました。  
本学ならびに全国の結果は、左記の通りです。

102回看護師国家試験結果						
	総数			新卒		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
本学	58	58	100.0	58	58	100.0
受験者全体	56,530	50,224	88.8	51,458	48,413	94.1

第99回保健師国家試験結果						
	総数			新卒		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
本学	78	78	100.0	75	75	100.0
受験者全体	16,420	15,764	96.0	15,136	14,751	97.5

第96回助産師国家試験結果						
	総数			新卒		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
本学	8	8	100.0	8	8	100.0
受験者全体	2,113	2,072	98.1	2,010	1,987	98.9

## TOPICS 04

### 工学部 JABEEの認定を受ける

工学部電子システム工学科の「電子システム工学科」プログラムが、日本技術者教育認定機構(JABEE)の日本技術者教育認定基準に適合していることが認定され、5月27日に認定証が授与されました。認定開始年度は2011年度です。  
JABEEから認定された技術者教育プログラムを修了すると、専門技術の知識と能力を備えた実践的技術者であることが保証され、「修習技術者の資格を得ることが出来ます。また、申請により「技術士補」の免許を得ることができるとともに、国家資格である「技術士」の資格を取るときに、その1次試験が免除されます。さらに、JABEEから認定された技術者教育プログラムは、国内のみならず国際的な水準であることが保証されます。  
工学部では、材料科学科の「材料科学と材料技術」プログラムおよび機械システム工学科の「機械システム工学プログラム」が、2012年度に認定認定開始年度は2011年度されており、これで工学部の全ての学科で認定されたこととなります。



授与された認定証

■日本技術者教育認定制度とは  
大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定(Professional Accreditation)制度です。